

アジア諸国との関係

《東南アジア》 1 朱印船 貿易… 2 朱印状(幕府の渡航許可証)の発行

豪商 京： 3 角倉了以 ・ 4 茶屋四郎次郎 堺： 5 納屋助左衛門  
 長崎： 6 末次平蔵・荒木宗太郎 撰津平野： 7 末吉孫左衛門  
 西国大名 島津家久・松浦鎮信・有馬氏・加藤氏

**輸入** 8 生糸・絹織物(中国産)、皮革・香料・薬種(南洋産)、ラシヤ(欧州産)

**輸出** 9 銀(世界の産出量の約3分の1)、銅、鉄、硫黄、漆器

日本人の海外移住 ←日本社会の固定化・牢人の増加

→東南アジア各地に10 日本(人)町の形成…自治や治外法権を認められた町もある

〈例〉11 シヤム(タイ)の12 アユタヤ(13 山田長政…リゴール大守→暗殺)

14 ルソン(フィリピン)のディラオ・サンミゲル、15 カンボジアのプノンペン・ピニャルー、

16 コーチ(ベトナム南部)の ツーラン・フェフォなど →18世紀にはほぼ消滅

《中国(明)》海禁(鎖国)政策→17 出会貿易(両国の船が台湾などで貿易)の形式で交易

《朝鮮》国交の回復(1607)→18 朝鮮通信使の来日が慣例化…19 将軍の代替り毎に 1 2回

☆20 対馬の宗氏は(鎖国後も)朝鮮との貿易が認められる 400人以上

21 己酉約条(1609：22 慶長条約)… 毎年20隻 釜山での開市

《琉球》23 島津家久(薩摩)の琉球征服(1609)→24 尚寧王は一時江戸へ連行される

以後、将軍の代替り毎に25 慶賀使を幕府へ、琉球王の代替り毎に26 謝恩使を幕府へ

一方で27 中国(明・清)への朝貢も継続…28 両属関係 砂糖などを薩摩へ上納

《蝦夷地》<sup>かきざき</sup>蠣崎氏、秀吉に蝦夷島主と認められる(1590)→徳川に服属(1599)、29 松前氏と改める

**松前藩** 最北の藩 石高なし(待遇は1万石) 30 アイヌとの独占交易権を持つ 〈例〉蝦夷錦

☆家臣に商場(アイヌとの交易場)を与える…31 商場知行制

1669. 32 シヤクシャインの戦い…アイヌが蜂起 原因は日本商人と松前藩による不正な搾取

→武力差により鎮圧

☆以後は商人が交易を請け負う33 場所請負制へ

## ヨーロッパ諸国との関係

- A. <sup>34</sup>紅毛人の来航…<sup>35</sup>イギリス・<sup>36</sup>オランダ (布教よりも)<sup>37</sup>貿易重視  
<sup>38</sup>新教(プロテスタント)国の台頭 ↔<sup>39</sup>旧教(カトリック)国 <例>イスパニア・ポルトガル  
 <例>イスパニア無敵艦隊、イギリス軍に敗北(1588)  
<sup>40</sup>東インド会社設立…イギリスはインド(1600)、オランダはバタビア(インドネシア)中心(1602)  
<sup>41</sup>1600. <sup>42</sup>オランダ船<sup>43</sup>リーフデフ号の豊後漂着 ……現ジャカルタ  
<sup>44</sup>ウィリアム=アダムズ(英: 日本名<sup>45</sup>三浦按針)  
<sup>46</sup>ヤン=ヨーステン(蘭: 日本名<sup>47</sup>耶揚子) …… 船員→家康の外交顧問に  
<sup>48</sup>平戸で貿易開始…蘭(1609～)、英(1613～)

## B. ポルトガルとの生糸貿易

1604. <sup>49</sup>糸割符制度…特定の商人に<sup>50</sup>輸入生糸を一括購入させる  
 ……<sup>51</sup>糸割符仲間…<sup>52</sup>五カ所商人(京・長崎・堺・大坂・江戸)

**目的** ポルトガル人の暴利を抑制・貿易の統制・幕府の利益

→のち、中国(清)・オランダにも適用 1655中断、1684. 復活

## C. イスパニアとの関係 ※<sup>53</sup>サン=フェリペ号事件(1596)→国交断絶

1610. 漂着した前ルソン総督<sup>54</sup>ドン=ロドリゴを送還 →国交回復  
<sup>55</sup>ノビスパン(メキシコ)との通商交渉 同行  
<sup>56</sup>徳川家康…<sup>57</sup>田中勝介派遣(1610 日本人初の太平洋横断)  
<sup>58</sup>伊達政宗…<sup>59</sup>支倉常長派遣(1613 <sup>60</sup>慶長遣欧使節) } →いずれも失敗  
 宣教師レイス=ソテロに同行 ローマ教皇パウロ 5 世にも謁見

オランダ東インド会社のマーク「VOC」  
 (Vereenigde Oostindische Compagnie)  
 at. ハウステンボス



【正誤問題に挑戦】<センター1991本試験、1990追試験より>

- (1) 幕府は、17世紀初めに、ポルトガル商人に対抗するため、長崎などの商人に仲間を結成させ、輸入生糸を一括購入・販売する制度を採用した。○  
 (2) 琉球を征服した島津氏は、明(のちに清)への朝貢をつづけさせ、琉球での貿易から利益を得ていた。○